

厚の御用紙で失礼いたします
 昨夜はひさし振りて拜眉いよいよ御儀の御様子
 拜し唐賀賀またえませんでした
 さて昨夜一寸おゆび申上げました如くいつもやは
 酔余とは申せおは月中の突然参上 無難な
 ことおねがいしましてまことに失礼いたしました
 爾来思ひましますと哀心慚愧 自らの
 人向未だほとはと愛想をつかしてあります
 一なお詫ひ伺おうと思ひながらすて一
 年近くおつてしまいました こころ改めて深くおゆび
 申上げる次第であります どうかお赦し下さいませ
 なるか お詫ひ伺ひなまされたのはあの後 いうんを
 人から あなたが大変怒つていらつしやるということを
 ききまされたり 又松沢光平代が方々で 江戸橋
 一が富田さんをゆすつて困る、酒とのませろ、女中
 買りに行く金をくわるとおつて「まといひ」を
 まくものですから いよいよお詫ひしにくくなつてし
 まつたわけです
 昨夜偶然お目まかれましたのは神のみちびこの
 如く思えまして早速 お詫ひ申上げ承り向の

このまゝ考へ上げておねがいすへるてすがけ多御申
 お印の鬼は却つて失礼と取て書面にて申上げる
 次第です 先は野々原のお詫ひを承り右まで
 十一月二十四日 江戸橋一
 富田様 五ああ下

初 ず 可 利 ち 世 進 白 漆 年 故 へ ぶ ぶ

板橋の己大門口三ハ三
 江戸橋一